

〔 英語ブロック〔重要ランク順〕オリジナル単語帳 〕



481

☒ word [ワ～ド] 発音注意

名 語、単語、歌詞
 約束 (= promise → 【No. 982】)

an English **word** / English **words**
 『英単語』

in other **words** 『言い換えれば』

keep [break] **one's word**
 『約束を守る[破る]』

I don't know the **word**. 『私のその単語を知りません。』

What does this **word** mean? 『この語はどういう意味ですか?』
 → 【単語帳 No. 590 … mean】

He went out without saying a **word**.
 『彼はひと言も言わないで外出しました。』
 ※ without 「～しないで」 → 【単語帳 No. 633】

Keep your **word**. 『約束を守りなさい。』
 = Don't break your **word**. 『約束を破るな。』
 → 【単語帳 No. 589 … break】

482

☒ culture [カルチャ] 発音注意

名 文化、教養

Japanese **culture** 『日本の文化』
Culture Day 『文化の日』

We studied Japanese **culture** today.
 『今日私たちは日本の文化について勉強しました。』

Gestures are different in different **cultures**.
 『異なる文化ではジェスチャー[身振り]が異なる。』
 ※ gesture(s) → 【単語帳 No. 981】

483

☒ north [ノーす] (⇔ south)

名 <the をつけて> 北、北部
 形 北の、北からの
 副 北へ、北に

派生語: northern (北方の) → 【単語帳 No. 813】

the **north** of Tokyo 『東京の北部』
 a **north** wind 『北風』
 the **North Pole** [ポウル] 『北極』
 ※ pole 「極、極地、さお、柱」
 the **North Star** 『北極星』 → 【No. 675】
North America 『北アメリカ、北米』
 fly **north** = fly to the **north**
 『北に飛んでいく』

※ 日本語では「東西南北」の順で言うが、英語では
 north, south, east and west の順で言う。

Nikko is to the **north** of Tokyo.
 『日光は東京の北にあります。』

※ 例えば、東京都の足立区のように、東京都(内)の北部に
 位置するときには in the **north** of Tokyo になる。

A cold wind is coming from the **north**.
 『冷たい風が北から吹いてきています。』

I saw the **North Star** last night.
 『私は昨夜北極星を見ました。』

Those birds fly **north** in winter.
 = Those birds fly to the **north** in winter.
 ※ 下の **north** は 名詞
 『あれらの鳥は冬に北に飛んでいきます。』

※ 下の英文も文法的に可能だが、実際には to the は
 省略されて 副詞 として使われることが多い。

☆ 【単語帳 No. 415 … east】 【No. 416 … west】 も参照のこと。

484

☒ south [サウス] (⇔ north) 発音注意

名 <the をつけて> 南、南部
 形 南の、南からの
 副 南へ、南に

派生語: southern (南方の) → 【単語帳 No. 814】

the **south** of Tokyo 『東京の南部』
 a **south** wind 『南風』
 the **south** gate 『南門、南ゲート』
 the **South Pole** [ポウル] 『南極』
South Africa [あふりか] 『南アフリカ』
 face **south** 『南を向いている』

Nara is to the **south** of Kyoto.
 『奈良は京都の南にあります。』

Ken lives in the **south** of this town.
 『ケンはこの町(内)の南部に住んでいます。』

We must find the **south** gate. → 【No. 924 … gate】
 『私たちは南門を見つけなければならない。』

Our house faces **south**. 『私たちの家は南向きです。』
 ※ face 「～に面している、向いている」 → 【単語帳 No. 386】

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕

485

☒ **most** [モウスト] **発音注意** ※ many, much の最上級の形。比較級の形は more → 【単語帳 No. 448】

☞ **いちばん～、最も～**

※ 2音節以上の形容詞・副詞の前につけて最上級を作る。

☞ 2音節の語には ~est になるものもある。

☞ **最も【いちばん】 多くの【多量の】**

① many の最上級 (⇔ fewest)
② much の最上級 (⇔ least)

たいていの【the をつけずに】

☞ **大部分【the をつけずに】
最大限、最大量【the をつけて】**

the **most** ~ in [of] ...
『…の中でいちばん～、
…のうちで最も～』

most (of) ~ 『～の大部分、
～のほとんど』

※ 特定の**もの** [人] たちの「大部分、ほとんど」の意味。of を使わず **most** ~ だと不特定の**もの** [人] の「大部分、ほとんど」になる。

☆ 最上級の文での in と of の使い分け

in + 単数内容の名詞 例 in Japan, in my class

of + 複数内容の名詞 例 of all, of the three

※ in も of も「～の中で、～のうちで」と訳す。

Tom is the **most** popular student in our school.

『トムは私たちの学校で最も人気のある生徒です。』

This is the **most** difficult book of the three (books).

『これは3冊の(本の)中でいちばん難しい本です。』

My mother drives (the) **most** slowly in my family.

『私の母は私の家族の中でいちばんゆっくり運転します。』

※ 副詞の最上級につく the は省略することもできる。→ 【かんたん英文法】

Kyoto is one of the **most** beautiful cities in the world.

『京都は世界でもっとも美しい都市のひとつです。』

※ この文は「世界中の、とてとても…美しい都市の中のひとつ」という意味。

Emi has the **most** CDs in our class. ※ many の最上級

『エミは私たちのクラスで最もたくさんの CD を持っています。』

Ken had the **most** money of all. ※ much の最上級

『ケン is 全員の中でいちばん多くのお金を持っていました。』

Most boys like soccer. 『たいていの少年はサッカーが好きです。』

※ 直後に of がないので、不特定の**もの**・人たちの「大部分、ほとんど」

Most of the students studied hard.

『その生徒たちのほとんどが熱心に勉強しました。』

※ of the を省略することもできるが、その場合は形容詞の **most** になる。また、the がなくなるので、ある特定の生徒たちではなく、一般的な生徒たちを指すことになる。

486

☒ **true** [トゥーリー] **発音注意**

☞ **本当の、真実の**

(⇔ false [ふォールズ]「うその、偽りの」)

誠実な、忠実な

派生語：truth (真実) → 【単語帳 No. 1027】

a **true** story 『本当の話、実話』
true love 『真実の愛』
come **true** 『実現する、本当になる』

This story is **true**. 『この物語は本当[真実]です。』

That's **true**. 『その通りです。それは本当です。』

Is that **true**? 『それは本当ですか?』

※ Really? や Is that right? などほぼ同意になる。

I hope (that) your dream will come **true**.

(→ 『私はあなたの夢が実現することを望みます。』)

→ 『あなたの夢が実現するといいですね。』

→ 【単語帳 No. 521 … dream】

487

☒ **usually** [ユージュアリー]

☞ **たいてい、ふつう** **アクセント注意**

≪80%程度の確率・割合をあらわす≫

※ **usually**, never などの語を「頻度(ひんど)を表す副詞」と言う。be 動詞・助動詞のある文では be 動詞・助動詞のうしろ、一般動詞のある文では一般動詞の前に使う。

Meg **usually** gets up at seven.

『メグはたいてい7時に起きます。』

He is **usually** at home every Friday [on Fridays].

『彼は毎週金曜日はたいてい家にいます。』

What do you **usually** do on Sundays [every Sunday]?

『あなたは毎週日曜日にたいてい何をしますか。』

☆ くわしくは、かんたん英文法【頻度を表す副詞】も参照のこと。

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕

488 488
 ☒ better [ベター] (⇔ worse) ※ good, well の比較級の形。very much の比較級とも考えられる。

形 もっと[より]よい、もっと[より]上手な
 ※ good, well の比較級

副 もっと[より]よく、もっと[より]上手に
 ※ well, very much の比較級

had better ~ 『～したほうがよい』

※ 日本語訳からはやわらかな印象を受けるが、軽い命令や忠告、ときに強い警告にもなる。過去形の had を使うが、過去の意味はない。

You had better go there.
 『あなたはそこへ行ったほうがよい。』

He had better not come here.
 『彼はここへ来ないほうがよい。』

※ had better ~ の否定文「～しないほうがよい」は had better not ~ となる。

☆ 最上級の形 best【No. 498】も参照のこと。

His car is better than mine. ※ good の比較級
 『彼の車は私の(車)より良い。』

You will get better tomorrow.
 『あなたは明日もっと(具合が)良くなるでしょう。』
 ※ well の比較級。get well「(病気などが)良くなる」
 ※ この例文では、文末に than today が省略されている。

Emi speaks English better than I.
 『エミは私より上手に英語を話します。』

Which do you like better, tea or coffee?
 『あなたは紅茶とコーヒーではどちらが好きですか。』
 → I like tea better (than coffee).
 『私は(コーヒーよりも)紅茶が好きです。』

☆ 「…より～が好き」と言うとき、つまり like を使って2者を比べる文では、いっしょに better を使う。
 ※ better は本来、good または well の比較級だが、like といっしょに使う better は、very much が活用して better になったと考えるほうがわかりやすい。→ くわしくは、かんたん英文法【比較級】参照のこと。

489 489
 ☒ enough [イナフ] 発音注意 アクセント注意

形 十分な、必要なだけの
 副 十分に、必要なだけ
 名 十分な数[量]

enough time [money] to ~
 『～するのに十分な時間[お金]』

That's enough.
 『それで十分です。』
 [否定的に] もうたくさんだ。』

enough (for 人) to ~
 『(人が)～するのに十分に』

Do you have enough time to read this book?
 『あなたはこの本を読むのに十分な時間がありますか?』

He didn't have enough money to buy the car.
 『彼はその車を買うだけの十分なお金を持っていませんでした。』

She was kind enough to help me.
 『彼女は親切にも私を手伝ってくれました。』
 ※ 副詞の enough は修飾する形容詞・副詞のあとにおく。

Did you have enough? 『あなたは十分召し上がりましたか?』
 → I've had enough. 『私は十分いただきました。』 <現在完了形>

490 490
 ☒ always [オールウェイズ] アクセント注意

副 いつも、つねに <100%の確率・割合をあらわす>

not always <部分否定>
 『いつも[必ずしも]～とは限らない』

※ always, often などの語を『頻度(ひんど)を表す副詞』と言う。be 動詞・助動詞のある文では be 動詞・助動詞のうしろに、一般動詞のある文では一般動詞の前に使う。

☆ くわしくは、かんたん英文法【頻度を表す副詞】参照。

She is always busy. 『彼女はいつも忙しい。』

He always comes home late.
 『彼はいつも遅く帰宅します。』

You should always get up early.
 『あなたはいつも早く起きるべきです。』
 → 【単語帳 No. 601 … should】

The rich are not always happy.
 『お金持ちが必ずしも幸せとは限りません。』
 ※ the rich「金持ちの人々」… 複数扱い
 → 【単語帳 No. 427 … rich】

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕

491
☒ picture [ピクチャ]☒ 名 絵、写真 アクセント注意

a **picture** book 『絵本』
 take a **picture** / take **pictures**
 『写真を撮る』
 a **picture** of my family
 『私の家族の写真』
 draw [paint] **pictures**
 『絵を描く』

I took a lot of **pictures** with this camera.

『私はこのカメラでたくさんの写真を撮りました。』

This is a **picture** of Emi. 『これはエミの(写っている)写真です。』※ Emi's **picture** とすると、「エミの写っている写真」と「エミの所有する写真[絵]」という2つの意味にとれる。Meg showed me her **picture**. ※ 第4文型の文= Meg showed her **picture** to me. ※ 第3文型の文

『メグは私に(彼女の)写真を見せてくれました。』

There are some **pictures** on the wall.

『壁には何枚かの絵がかかっています。』

492
☒ drink [ドゥリンク]

☒ 動 (～を) 飲む

☒ 名 飲み物、(水・酒などの) 1 杯

活用 : drank [ドゥらあंक]
- drunk [ドゥらंक] - drinking

3単現形 : drinks [ドゥリンクス]

soft **drinks** 『清涼飲料、アルコールが入っていない飲み物』
 a **drink** of water 『1杯の水』

☆ 名詞 の用法の例文は省略します。He **drinks** a cup of tea every morning.

『彼は毎朝カップ1杯の紅茶を飲みます。』

Meg **drank** a glass of milk.

『メグはコップ[グラス]1杯の牛乳を飲みました。』

I want to **drink** something. 『私は何か飲みたい。』I want something to **drink**. 『私は何か飲み物がほしい。』

※ 上の2つの文は、ほぼ同意になる。

※ something to **drink** 「(飲むための何か→)何か飲むもの」
→ かんたん英文法【不定詞の形容詞用法】参照のこと。

☆ 薬を飲むときは take を使い、スープ皿からスプーンを使ってスープを飲むときは eat を使うのがふつう。

→ 【単語帳 No. 140 … take】、【No. 234 … eat】

493
☒ glass [グラァス]☒ 名 コップ、グラス
ガラス

《glasses で》眼鏡(めがね)

a **glass** of water 『コップ1杯の水』
 two **glasses** of milk 『コップ2杯の牛乳』
 a **glass** bottle 『ガラスのビン』
 ※ bottle 「バトウル」 → 【単語帳 No. 827】

I want a **glass** of water.

『私はコップ[グラス]1杯の水がほしい。』

Would you like another **glass** of milk?

『ミルクをもう1杯いかがですか?』

This dish is made of **glass**. 『この皿はガラス製です。』

※ be made of ~ 「～でできている」 → 【No. 172 … make】

Aki wears **glasses**. 『アキはメガネをかけています。』

※ wear 「～を身につけている」 → 【単語帳 No. 576】

glass … ふつうガラス製で、冷たい飲み物を入れる。 / **cup** … ふつう取っ手がついていて、温かい飲み物を入れる。

494
☒ cup [カップ] 発音注意☒ 名 カップ、茶わん
優勝カップ

a **cup** of tea 『1杯の紅茶』
 two **cups** of coffee
 『カップ2杯のコーヒー』

I bought a new **cup**. 『私は新しいカップを買いました。』How about a **cup** of coffee? 『コーヒーを1杯いかがですか?』Ken drank two **cups** of tea. 『ケンには紅茶を2杯飲みました。』Do you want another **cup** of tea? 『紅茶をもう1杯いかがですか?』Tom won the **cup**. 『トムは優勝カップを獲得しました。』

※ won は win の過去形。発音は [ワン] → 【単語帳 No. 672】

〔 英語ブロック [重要ランク順] オリジナル単語帳 〕



495

☒ few [ふ、ユー] (⇔ many, a lot of)

She has a **few** cameras.

『彼女はカメラを2、3台持っています。』

形 << a few + 名詞で >> 少しの、2、3の

<< few + 名詞で >> ほとんどない

[比較変化] few - fewer - fewest

代 ほとんどない

<< a few で >> 少数の人[もの]

a **few** days ago 『数日前、2、3日前』
for a **few** days 『2、3日間』
for a **few** minutes 『2、3分間』
in a **few** minutes 『2、3分たてば』

few … 数えられる名詞の前に使う。数を表す。
little … 数えられない名詞の前に使う。量を表す。
→ 【単語帳 No. 184】

He has **few** friends. 『彼には友達がほとんどいません。』

※ a がいないときは否定的な内容になる。どちらの表現を使うかは、話し手の感じ方によって異なる。(little, a little の違いと同様)

We met Meg a **few** days ago.

『私たちは2、3日前にメグに会いました。』

Tom will come back in a **few** minutes.

『トムは2、3分たてば[で]戻ってくるでしょう。』

Only a **few** of them know it.

『それを知っているのは彼らのうちの2、3人だけです。』

Few came here. 『ここに来た人はほとんどいなかった。』

496

☒ almost [オールモウスト / オールモウスト]

発音注意

副 ほとんど、おおかた、もう少しで (= nearly [ニアリィ])

almost every day 『ほとんど毎日』

almost all (the) students

= **almost** every student

※ every の後ろには単数形を使う。

『ほとんどの学生』

※ most (of the) students もほぼ同意。

→ 【単語帳 No. 485 … most】

Almost all (the) students like watching [to watch] TV.
= **Almost** every student likes watching [to watch] TV.

『ほとんどの学生はテレビを見るのが好きです。』

※ 上の例文の補足：the を使うと、特定の生徒たちのことを指す。

下の例文の補足：every のうしろには単数形の名詞を使うので、主語が3人称単数になる。→ 現在形の文では動詞の語尾に3単現のsを忘れずにつける。

almost … その数に近いが 超えない。

about … その数の前後。→ 【No. 54】

比較 It's about five o'clock. ←

『おおよそ5時です。』

※ 5時前後の時刻をあらわす。

It's **almost** five o'clock. 『もう少しで[だいたい]5時です。』

※ まだ5時になっていない。

about を使った文とのちがいに注意!

I **almost** left my bag on the train.

『私はもう少しで[あやうく]電車に

私のバッグを忘れるところでした。』

497

☒ once [ワンス]

発音注意

副 一度、1回、かつて

once a week [month/year]

『週[月/年]に1回』

once again = once more

= one more time 『もう一度』

at **once** 『すぐに』 (= right away)

once upon a time 『昔々』

(おとぎ話の冒頭に使う表現)

※ upon [アパン] 「～の上に」

… on よりも形式的な語。上のような特定の成句で使うのがふつう。

We go to the library **once** a week.

『私たちは週に1回その図書館に行きます。』

Let's sing the song **once** again [more].

『もう一度その歌を歌いましょう。』

I have been to Osaka **once**.

『私は一度大阪に行ったことがあります。』

☆ かんたん英文法【現在完了形③ … 経験】も参照のこと。

Come here at **once**. 『すぐにここに来なさい。』

Ken **once** lived in China.

『ケンはかつて中国に住んでいました。』

※ 「かつて」の意味ではふつう文中に使う。

☆ **once** には「いったん～すると、一度～したら」の意味の **接続詞** の用法もある。

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕

498

☒ **best** [ベスト] (⇔ worst) ※ good, well の最上級の形。very much の最上級とも考えられる。

形 **いちばん[最も]よい** ※ good, well の最上級

副 **いちばん[最も]よく、いちばん[最も]上手に**
※ well, very much の最上級

名 **最上、最善**

do one's **best** 『最善[全力]を尽くす』
※ one's の部分には所有格が入る。

※ **best** の前にはふつう the をつける。
… ただし、my, your などがあるときには the は不要になる。また、副詞の最上級につく the は省略することができる。

☆ 「…のなかで[うちで]～が**いちばん**[最も]好き」と言うとき、つまり、like を使って3者以上を比べる文では、(the) **best** をいっしょに使う。

→ **best** は good または well の最上級形だが、like といっしょに使う **best** は very much が活用して **best** になったと考える。

☆ 比較級の形 better【No. 488】も参照のこと。

He is my **best** friend. 『彼は私の親友です。』

This is the **best** book (that) I have ever read.
『これは私が今までに読んだ最良の本です。』
※ read は過去分詞形。[れッド]と読む。

I like English (the) **best** of all subjects.

『私はすべての教科の中で英語が**いちばん**好きです。』

Which season do you like (the) **best**?

『あなたはどの季節が**いちばん**好きですか?』

→ I like summer (the) **best**.

『私は夏が**いちばん**好きです。』

Do your **best**!

『あなたの**最善**[全力]を尽くしなさい。』

I'll do my **best**.

『私は**最善**[全力]を尽くします。』

499

☒ **never** [ネヴァ] **アクセント注意**

副 決して～ない、一度も～ない
≪0%の確率・割合をあらわす≫

have [has] **never** been to ~
『～へ一度も行ったことがない』

Never give up. 『あきらめるな。』

Never mind. (= Don't worry.)
『気にするな。心配するな。』

※ 日本人はこの意味で「ドンマイ」と言うが、実際には **Never** mind. とする。

※ **never**, always などの語を『頻度(ひんど)を表す副詞』と言う。be 動詞・助動詞のある文では be 動詞・助動詞のうしろに、一般動詞のある文では一般動詞の前に使う。

Meg is **never** late for school.

『メグは決して学校に遅れません。』

He **never** eats meat. 『彼は決して肉を食べません。』

※ **never** は副詞なので、主語が3人称・単数形で、時制が現在の文では、一般動詞の語尾に3単現の s が必要になる。
… don't, doesn't, didn't のある文では、一般動詞が原形になるのは do, does, did が助動詞だからである。

I'll **never** forget you. 『私はあなたを決して忘れません。』

Emi has **never** been to America.

『エミはアメリカに一度も行ったことがありません。』

I have **never** seen such a beautiful flower.

『私はそのように美しい花を見たことがありません。』

※ 今初めて「そのように美しい花を見た」ということ。

☆ くわしくは、かんたん英文法【頻度を表す副詞】、
【現在完了形③…経験】も参照のこと。

500

☒ **afraid** [アフレイド] **アクセント注意**

形 おそれて、こわがって

be **afraid** of ~ 『～をおそれる、こわがる』

I'm **afraid** (that) ~ 『(残念ながら)～』

※ **afraid** のあとには 望ましくない内容が続く。
望ましい内容の時は I hope (that) ~ を使う。

I'm **afraid** so. 『残念ながらそのようです。』

I'm **afraid** not.
『残念ながらそうではないようです。』

I'm **afraid** of dogs. 『私は犬がこわい。』

Don't be **afraid** of making a **mistake** [mistakes].
『まちがいをおそれるな。』

※ of は前置詞なので、後ろには名詞か動名詞(～ing)を使う。

I'm **afraid** (that) it will rain tomorrow.

『(残念ながら)明日は雨が降りそうです。』

I'm **afraid** (that) you have the wrong number.

『(残念ですが)間違い電話です。』